

## 愛西市中学生体験学習事業プロポーザル審査講評

愛西市中学生体験学習事業特定審査会

会長職務代理者 伊藤 孝一

### 1. 選定経緯

令和4年5月27日に愛西市教育委員会教育部長より10名に対して本プロポーザルの特定審査会委員の依頼があり、その後、3回にわたる特定審査会で審議を行い、最優秀者及び次点者を特定した。

(特定審査会委員)

会 長	鈴木 睦	愛西市副市長
委 員	伊藤 孝一	愛西市企画政策部参事
委 員	衛藤 義隆	愛西市立永和中学校長
委 員	赤田 由起江	愛西市立佐屋中学校長
委 員	横井 孝之	愛西市立立田中学校長
委 員	中山 政彦	愛西市立八開中学校長
委 員	伊藤 克仁	愛西市立佐織中学校長
委 員	前田 健治	愛西市立佐織西中学校長
委 員	渡邊 典夫	愛西市企画政策部経営企画課課長補佐
委 員	毛利 奈々子	愛西市総務部財政課課長補佐

(事務局)

愛西市教育委員会学校教育課

#### (1) 第1回特定審査会 (令和4年6月1日)

第1回特定審査会では、委員の互選により、鈴木睦委員を会長に選出した。

その後、愛西市中学生体験学習事業プロポーザル実施要領(案)や、今後の特定審査会スケジュール等について審議した。

#### (2) 第2回特定審査会 (令和4年7月12日)

提出された3者(A者・B者・C者)の参加申込書等により参加資格要件について審議し、その結果、3者ともに第2次審査参加者として選定した。

次に、①会社概要、②会社の業務実績の2点による第1次審査を行い、事務局が評価基準に従い、あらかじめ採点した結果について審査し、これを了承した。

#### (3) 第3回特定審査会 (令和4年8月1日)

会長が諸事情により欠席となったため、事業担当部長より会長職務代理者を指名し、これを了承した。

次に、非公開の場において、選定した3者による個別プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。終了後、業務提案書の内容と、プレゼンテーション及びヒアリングによる第2次審査を行った。業務提案書のうち見積額については、あらかじめ事務局が評価基準に従い採点した結果を了承した。

その後、各審査委員は、第2次審査参加者それぞれの最終的な評価を行い、全員から提出された評価表を集計した。

集計結果をもとに最終的な審議を行い、最高得点の者（A者）を最優秀者として特定、次位の者（B者）を次点者とした。

## 2. 選定講評

本事業は、「ひと」や「もの」、「実社会」などを対象となる実物に実際に関わっていく「直接体験」を通じて、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでもらう事業として、これまで中学校毎に実施してきた修学旅行に代わり、令和5年度から実施する新規事業である。本事業で得た知識や考え方を基にして、自分や自分の周りにおける問題、現在の社会が抱えている問題に対して主体的に取り組んでいけるようになり、豊かな人間性を生きる力を育み、郷土を愛し、将来を担っていく生徒の育成を目指していくという事業目的を最大限効果的に実現するため、特定審査会においてプロポーザル方式にて業者を選定することに決定した。

第1次審査では、本プロポーザルに参加する資格要件について審議するとともに、会社の業務実績、会社の取得認証、業務担当者の取得資格等について評価した。参加申込書等を提出した3者とも参加資格要件を満たしており、第2次審査の参加者として選定した。

第2次審査では、提出された業務提案書をもとに、見積額について書類審査を行った。さらにそれらを含め、事業の基本的な考え方、企画内容、実施体制、キャンセルの条件等についての個別プレゼンテーションを実施するとともに、業務提案に対するヒアリングを実施した。

各者の業務提案は、どちらも本プロポーザル実施要領及び仕様書に沿っており、プレゼンテーション及びヒアリングでは、明確な説明と質疑応答がなされていた。特に、参加者が提案する東北地方の企画内容及び自由提案において、それぞれの特徴や長所が具体的に説明され、被災地での震災学習といった点についても具体的な案も示されていた。しかし、①生徒にとって有意義なワークショップとなっているか、②生徒の健康と安全が十分に配慮された行程となっているか、③現時点での交通手段等の確保がなされており実現可能な提案となっているかについて評価が分かれ、第1次審査結果との総合点で、最高得点者であるA者を最優秀者として特定することとなった。

短期間の要請だったにもかかわらず、プレゼンテーション及びヒアリングは非常に円滑に行われ、真摯かつ意欲的な姿勢と、豊富な実績をもって愛西市及び愛西市の中

学生のために貴重な提案を示していただいた全参加者に対して、審査委員一同敬意を表す。